

令和4年度東京都 MICE 連携推進協議会（第2回）開催概要

日 時 令和5年3月3日 15時00分から17時00分

場 所 ビジョンセンター西新宿 707 及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和4年度東京都 MICE 連携推進協議会 委員 16 名

協議内容

- ・観光庁からの説明
- ・各部会からの報告（国際会議誘致・ユニークベニュー・拠点・テクノロジーの4部会）
- ・東京都からの報告
- ・各委員からの報告

開催概要

第2回の協議会では、観光庁から来年度の MICE 予算・施策等の概要についてご説明いただきました。今年度開催された各部会からの報告に続き、東京都から来年度の MICE 誘致施策について、また各委員からは来年度の取組についてご報告をいただきました。

委員からの主な意見（要旨）

●各部会長より

- 激しい国際競争を勝ち抜くために、改めて国内外の主催者のニーズに耳を傾け対応していくことに加え、海外の取組を学ぶことや、官民が連携して同一のメッセージを発信する等、オール東京で国際会議の誘致を強力に推進していくことがこれまで以上に求められる。
- これからの MICE 開催には単純に人が集まるための会場やユニークベニュー単体ではなく、その会場や立地の持つ特性、あるいは地域と連携した取組が重要。
- エリア MICE 実現には、MICE 関係者だけではなく幅広くエリアの住民との対話が不可欠であり、商店街や産学との連携、テナント等一般企業も含めた関係性の構築が重要。
- MICE への先端テクノロジー導入は、費用的な負担もあるため、行政が先陣を切ってモデルを作り、それを民間の人たちが追従して使うことにより、導入コストが下がっていくというサイクルにできることを期待。

●各委員より

- インバウンド復活に伴う営業体制の強化、戦略的な販売コントロールとして質・単価の高いものの提供、SDGs への取組及び発信、というシンプルなことを着実にやっていくことが、MICE 案件を確実に取り込んでいくためのポイントとなる。
- サステナブルな取組に加え、展示会の国際化、統計の整備等、MICE 関連団体の横断的な連携が重要であり、積極的に取り組んでいく。
- サステナビリティに関しては環境的な視点への関心が高いが、コンプライアンスやジェンダー、労働安全衛生等、社会的な視点に対する関心も高い。具体的な取組事例紹介や啓発活動を行ってほしいという声も多い。
- 人材育成や人材確保に向けた様々な発信を強化する必要がある。MICE 業界全体として、いかに人を引き付けるかが非常に重要。

以上